平成 25 年度 事務事業マネジメントシート 〔 事後評価 〕

会計	款	項		事業コード	事業	名				
一般	02	01	06	6 0404 在京人会運営支援事業						
事業期間	✓	単年度	繰返	□期間	限定	〔平成	年	度 ~ 平成		年度〕
·····································										
在京人会の活動支援										
	員間の発	見睦と融	地和を図	り、郷土との	交流を済	深め、企業誘	致、徇	観光客誘致な	どにつな	さがる
舌動を支払	爰するた	こめ。								
《事業概要	要》									
○在京人会 ○在京人会	合への運会総会等	■営費補 毎出席お	前助 『費等							
					. — - — -					
市民参画	の有無	[対	象外)
《事業展開	開の留意	事項》								
《成果指标				1		0	L- (-L-)			-/
	項		目	単位	В	分 24 年度(2 標	_{廷績)} 85	25 年度(見込)	26 年度	E(計画) 85
① 市内観	光施設	宿泊数		万人	実		82	88		85
0						標				
2					実	績			************	**********
3)						標				
				ı	/ +→	/-t-				

実績

11 -1-	
146.1 -11	ベノロ

担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
総合政策部	地域づくり課	似内 一弘	454

		25 年度	当初(現計)	補 正	25 年度	26 年度
-	事業費					
* A A		1, 286				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1, 286				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

○在京人会運営費補助 750千円 在京人会の運営費に対する補助

> 在京花巻人会 300千円 在京大迫町人会 100千円 在京石鳥谷町人会 250千円 花巻市在京東和町友会 100千円

〔算定根拠〕

運営補助 一律100千円

事業実施加算 150千円 (花巻・石鳥谷)

規模加算 50千円(花巻)

○在京人会総会関連事務費536千円旅費479千円消耗品8千円通信運搬費・手数料49千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート (事後評価 会計 款 項 事業コード 事業名 一般 06 0404 在京人会運営支援事業 政 策 都市内分権構築で市民参画・協働 施 策 NPOの活動促進と支援 計画 のまちづくり 目的 在京人会の活動支援 対象 在京人会(4団体) 花巻市への各種事業への協力をお願いしながら、交流促進を図ることにより、花巻市を広 くPRすることができ、市の地域活性化を図ることができる。 《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること ○在京人会への運営費補助 ○在京人会総会等出席旅費等 市民参画の有無 市民協働 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 の形態 後援・協賛 補助・助成 委託 活動指標 (上記「事業概要」に対応) 単位 区分 24 年度(実績) 25 年度(実績) 25 年度(計画) 計画 ① 総会及びつどいの開催回数 回 実績 4 4 5 5 計画 ② 広報誌等の発行回数 回 実績 5 計画 実績 成果指標 (上記「意図」に対応) 単位 区分 24 年度(実績) 25 年度(実績) 25 年度(計画) 目標 85 ① 市内観光施設宿泊数 万人 実績 82 88 目標 2 実績 目標 (3) 実績 □ 目標値より高い □ 概ね目標値どおり □ 目標値より低い 達成度 要因分析 ・例年どおりの活動が継続されている ※成果指標の数値には、東日本大震災関連の宿泊者数も含まれている。

<u> </u>	環境変化、意見·要望》…環境変化	はないか? 意見や要望が寄せられていないか?				
・特になし						
目的妥当	公共関与の妥当性✓ 妥当である□ 見直し余地がある□ ヌ当でない	・これまでの経過及び事業内容から在京人会の運営に対する市の 財政支援は必要であり、公共関与は妥当である。				
性 有効	成果の向上余地 「向上余地がある 「向上余地がない	・ホームページ等を通じて活動状況を公開することで、在京人会 の活動が広く周知され、活動が活性化されることが期待される。				
性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある	・在京人会の規模に応じた運営費補助額であり、削減の余地はない。				
効率性	人件費の削減余地がある✓ どちらも削減余地がない					
公平性	受益と負担の適正化余地 □ 受益機会の見直し余地がある □ 費用負担の見直し余地がある □ 適正である	・在京人会の規模に応じた運営費補助額である。				
《 #	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		金を交付することで、在京人会の円滑な運営が図られた。				